



修行の様子

Training situation

行とは日々の実践

寮で行う毎日のお勤め、施餓鬼法要や
法話大会といった実践。

身延山で過ごす生活のすべてが修行であり、
実践の繰り返しから多くのことを
学ぶことができます。



報恩法要 勤行



書道研修



施餓鬼

学問の様子

Academic status

学によって獲得した智慧
修行というのは、理論の裏打ちなくしては
徒勞に終わります。

大学の講義や様々な研修によって、
確たる智慧を獲得することができます。



行学寮

Gyogakuryo

明治30年代には身延山久遠寺祖師堂付近にトタン葺きの
鶯谷学寮がありました。

その後、鶯谷学寮は西谷に移転しましたが老朽化が進み、
昭和8年 名古屋市門額寺住職平賀上人（唯妙院日良上人）が
亡令室（厚徳院棟）の菩提を弔うために寄付を行い、
東谷智寂坊の地と交換して、寮を新築しました。

その際に寮名を「厚徳寮」としました。

さらに昭和48年 学僧は行学二道に励むべしという考えから、
寮を新築し、「行学寮」と改称し、現在に至っています。

総門